

【会社経営に役立つ】 生命保険活用法

社長さん!
この機会に **保険** を
見直してみませんか?

著者 吉光 隆 (1級ファイナンシャル・プランニング技能士)
監修 染宮 勝己 (税理士・CFP®)



社長さん!

この機会に **保険** を 見直してみませんか?

● 仕様: A5判 / 152ページ / 本文2色刷り
● 定価: 1,430円 (本体1,300円 + 税10%)

著者 吉光 隆
(1級ファイナンシャル・プランニング技能士)

監修 染宮 勝己 (税理士、CFP®)

経営者に向けて最適な生命保険の加入方法や
見直しを提案するベストセラーの小冊子

事業承継税制や法人契約の経理処理、
高齢者の雇用に関する法令の最新改正内容を反映!!

法人のリスク対策に生命保険の活用が有効であることは広く理解されており、多くの企業で生命保険に加入されている一方、具体的な活用方法がわからない、加入したものの必要を感じなくなったので解約した、という事例も多く見られるようです。せっかく生命保険に加入をしても、企業の必要や目的に合ったものでなければ全く意味のないものになりかねません。

企業には、創業期、成長期、安定期、事業承継期などのステージがあり、生命保険の活用には、ステージごとの「加入目的」や「保障内容」の理解が必要です。本書は企業のステージにあわせて構成し、物語調によるストーリー展開の形式をとり、すでに生命保険に加入している企業はもちろん、これから新たに生命保険の活用を検討しようとしている企業において、生命保険の活用の効果や、具体的な活用方法が理解できるようにわかりやすく説明しています。

また、生命保険活用の検討に必要な関連知識である、事業承継税制や法人契約の経理処理(法人税基本通達や所得税基本通達の改正)、および高齢者の雇用に関する法令などに関する最新の改正内容等も紹介しています。

企業の経営者(社長)はもちろん、法人マーケット開拓を目指すセールスパーソンにも手にしていただきたい一冊です。

こんな方におすすめ

- 法人マーケット初心者のためのわかりやすい入門書として(物語調のストーリー展開)
- 社長と親しくなったが保険の話が切り出せない方
- 見込先企業に生命保険の見直しを意識させたい方
- 役員向け、従業員向け、それぞれの保障の考え方や経理処理をもう一度確認したいとき

【注】上記テキストは、AFP・CFP®の継続教育単位取得の通信講座教材として、日本FP協会より認定を受けております。通信講座の受講を希望される方は、継続教育通信講座の専用申込用紙からお申し込みください。上記テキスト購入後に通信講座への切替申込はできません。詳しくは、弊社ホームページ <https://www.fps-net.com/keizoku/>、もしくは弊社業務部までお問い合わせください。
TEL 03-3352-8302 平日9:30~17:00

— 主な内容 —

- 第1章 生命保険の見直しポイント
 - どんな保険も見直しが必要!
- 第2章 事業保障・事業継続資金と生命保険
 - 会社での最低限の保障は「会社の借入金」対策
- 第3章 役員退職慰労金
 - 役員退職慰労金の適正額は?
 - 「加入保険金額=退職慰労金」にはならない
- 第4章 従業員のための生命保険
 - 基本は制度契約から!
 - 福利厚生プラン
 - 高齢者の雇用確保義務にどう対応すればいいのか?
- 第5章 事業承継・相続対策
 - 事業承継対策が後回しになっていませんか?
 - まず後継者を決めること! 決めたら変えないこと!
 - だれが、何株、持っているかを知っていますか?
 - 自社株の生前贈与は自社株評価から
 - 円滑な事業承継のため「古参(役員)株主」の処遇を考える!
 - 自社株買取り財源には生命保険がベスト
- 第6章 相続対策と生命保険の活用
 - いくつか必ずやって来る相続問題
- 第7章 中小企業における経営の承継の円滑化に関する法律
 - 生前贈与された株式は、遺産分割の際「持ち戻し」?
 - 「納税猶予制度」で起こりがちな2つの勘違い
- 第8章 法人契約の経理処理
 - 経理処理を理解していますか?
(法人税基本通達・所得税基本通達の改正など)

※体裁・内容等、一部変更となる場合がございます。